



# The Perfect Finish

- **Harry Gallagher NRO**  
**Irish Sailing Association**
- **Transl. by Sen Yamaoka**  
**NRO JSAF**

**DON'T FORGET**

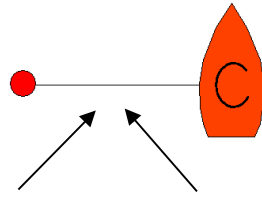
**The Start you can do over and over  
The Finish only ONCE!**

# 忘れないこと

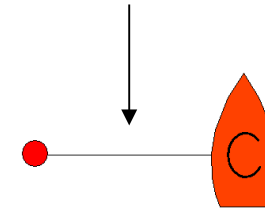
スタートは何度もやり直せるが  
フィニッシュは一度だけ！

# フィニッシュ・ラインの位置

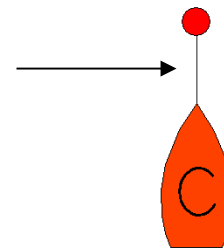
風上  
Upwind



風下  
Downwind



リーチ  
真横  
Reaching



# フィニッシュ・ライン

- 風上 – ビート・フィニッシュ – 望ましい
- 風下 – セール番号判読が難しい
- リーチ – 難しいほどではない

# アンカリングするレースコミッティー・ボート

## 考慮すべき事項:

- 水深 – アンカー・ロープの長さ?
- 周辺の水域 – 障害物の存在,  
例えば、タコつぼ、ノリ網
- 海流に流されている場合? トランシットをとる、  
またはGPSを用いる

# フィニッシュ・ラインの設置

先頭艇が最終レグを開始する前に設置すること

風上フィニッシュ・ライン  
– 風向に対し  $90^\circ$  に設置

その他のすべてのレグ  
– コースの最終レグに対し  $90^\circ$  に設置

ラインの長さ  
– おおよそ 10-15 艇身



青色旗

- レースコミッティー・ボートはフィニッシュ・ラインに‘位置している’
- 先頭艇が最終レグを開始する時に掲揚
- 音響信号なし

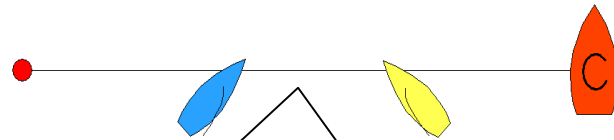




# レースのフィニッシュ

## フィニッシュ

- 艇体、または正常な位置にある乗員もしくは装備の一部がコース・サイドからフィニッシュ・ラインを横切るとき、艇はフィニッシュするという



両艇はフィニッシュしたが、まだレース中である

# レースのフィニッシュ

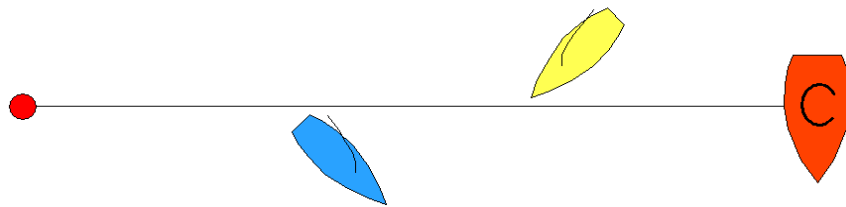
ただし、フィニッシュ・ラインを横切った後に、次のいずれかの場合には、艇はフィニッシュしていない

- (a)規則44.2に基づくペナルティーを履行する場合  
(回転ペナルティー)
- (b)フィニッシュ・ラインで行った規則28.2 に基づく誤りを正す場合
- (c)コースの帆走を続ける場合

## レース中

艇がその準備信号から、フィニッシュしてフィニッシュ・ラインとフィニッシュ・マークを離れるまで

艇体、乗員または装備の一部がライン上になく、いずれのマークもその艇のコースに影響を与えていない時、艇はフィニッシュ・ラインおよびマークを離れるという。

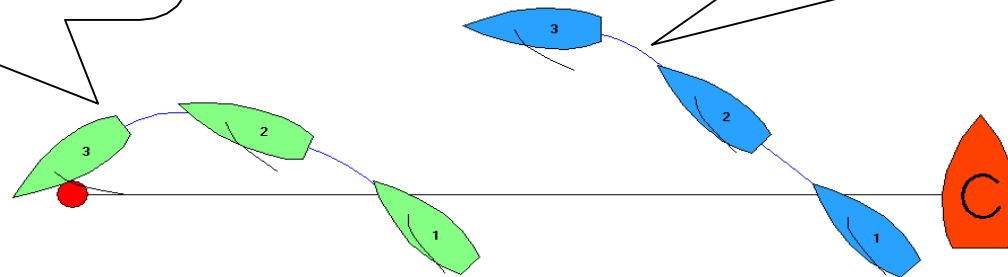


両艇はフィニッシュし、フィニッシュ・ラインから離れた

# フィニッシュ・ラインおよび フィニッシュ・マークから離れること

この艇はフィニッシュし、フィニッシュ・ラインを離れたが、マークを離れていない。

この艇はフィニッシュし、フィニッシュ・ラインを離れた。彼は帰るだろう。



この艇はフィニッシュし、フィニッシュ・ラインを離れる前にフィニッシュ・マークと接触した。彼は直ちにペナルティーを履行しなければならない。



いったんペナルティーを完了し、2度目にフィニッシュ・ラインを横切る時、彼の順位が記録される

## ピンエンド・マークは - どちら側にするのか?

**フィニッシュ・ピンをコミッティー・ボートのどちら側に設置すべきかを明記した規則はない。**

**しかしながら、帆走指示書で明記することができる**

**すべての条件が同じなら、ピン・マークは、フィニッシュする艇がポートに見て通過するように設置するのがよい (ポート・ハンド・コースと称す)**

# コース短縮のフィニッシュ – どこでするのか？

- コースの回航マークにおいて
- スタート/フィニッシュ・ラインにおいて
- ゲートにおいて – ゲート・マークの間

# コース短縮のフィニッシュ (コースのマークにおいて)

フィニッシュ・ボートの位置は?

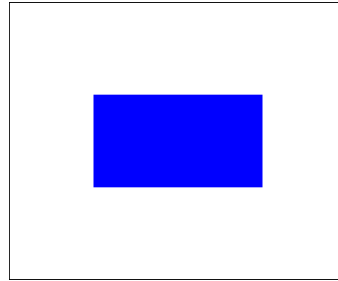
マークのどちらの側でもよい

**BUT**

**乗組員は帆走指示書によって定められた側を  
通過することを望んでいる**



# コース短縮音響信号



音響2声

先頭艇が、旗を目視し、音響が聴こえる  
位置にきた時、掲揚する

青色旗は必要ではない

# 記録

## フィニッシュの記録

- 記録チームは読み手と書き手である
- 読み手は番号を大声で読み上げ、それをヴォイス・レコーダーに録音する
- 書き手は記録紙を持ち、鉛筆で記録する

# 記録

- 常時少なくとも2組の記録チームを持つこと  
(大きな大会ではそれ以上)
- フィニッシュ・ラインおよびその延長線を横切るすべての艇を記録すること
- 1位および最終フィニッシュの時刻を記録すること
- プロテスト旗を記録すること

# 記録

フィニッシュ時の音響信号は?

厳密には必要ない

**BUT**

最初の艇への音響信号は、フリート全体に参考となる時間を提供する

(各フリートの)1位、2位、3位も推奨される



# Finishing – What happens next?

# How Does this Boat Finish?





## RRS 47.2 乗員の制限

RRS47.2 乗艇している人員は、病気または負傷の場合、または危険な状態にある人員または船舶を救助するため、または泳ぐためを除き、故意に艇を離れてはならない。ただし、偶発的に、または泳ぐために艇を離れた者は、レースを続ける前に艇に戻らなければならない。

# ISAF競技規則Q&Aサービス

## E 004 Q&A 2015.011

2015年9月24日公表



### 質問1

艇が転覆しており、艇体がフィニッシュ・ラインを横切った場合、その艇はレースをフィニッシュしたとみなされるのか？

### 回答1

フィニッシュしている。定義フィニッシュを参照。

### 質問2

質問1の回答が「そのとおり」である場合、乗員は物理的に艇と接触していなければならないのか？

### 回答 2

定義フィニッシュは乗員が艇上にいることについて、いかなる必要条件を含めていない、しかしながら、規則47.2は、偶発的にまたは泳ぐために艇を離れた乗員は、艇がレースを続ける前には艇上に戻らなければならないと、要求している。フィニッシュ・ラインを横切った転覆した艇は、定義によりフィニッシュするが、乗員が艇に接触していない場合、規則47.2に違反している、ただし乗員が艇を正常な状態にしようとして水中にある場合を除く。回答3参照。

### 質問3

艇体の一部がフィニッシュ・ラインを横切った後、乗員は艇上に戻った。艇はコース・サイドに戻り、その後フィニッシュ・ラインを再度横切った。艇にとってこの時がフィニッシュなのか？

### 回答3

その通り。その艇が最初にフィニッシュ・ラインを横切ったのはもはや関連ない、なぜならその艇はコースの帆走を続けていたからである—定義フィニッシュ(c)参照



**DON'T FORGET**

**The Start you can do over and over  
The Finish only ONCE!**

**THANK YOU**

# 忘れないこと

スタートは何度もやり直せるが  
フィニッシュは一度だけ！